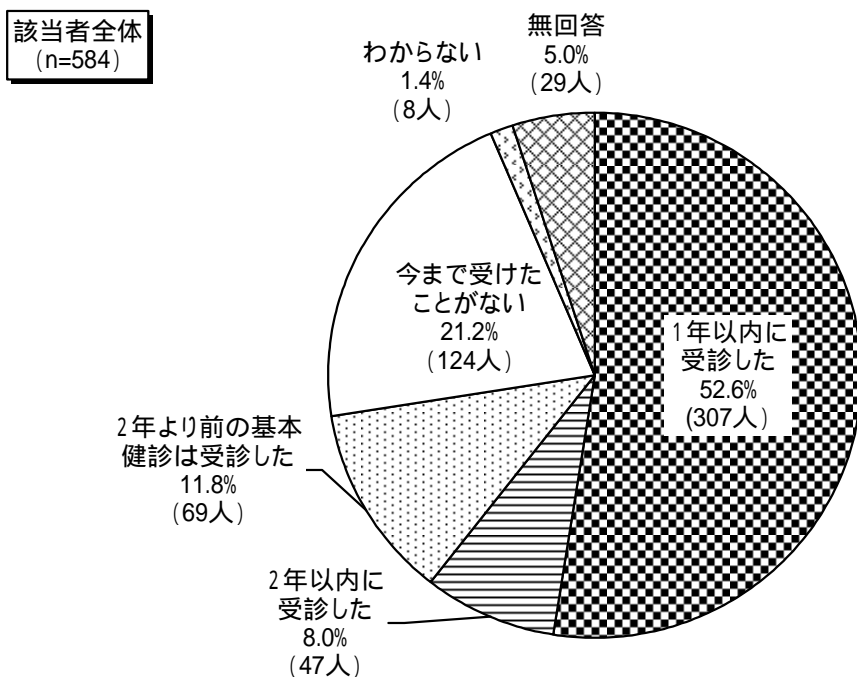


3 生活習慣病予防対策について

(1) 特定健康診査受診の有無

問14 あなたは、特定健康診査（40歳～74歳対象）を受けたことがありますか。
1～5の中であてはまるもの1つに をつけてください。

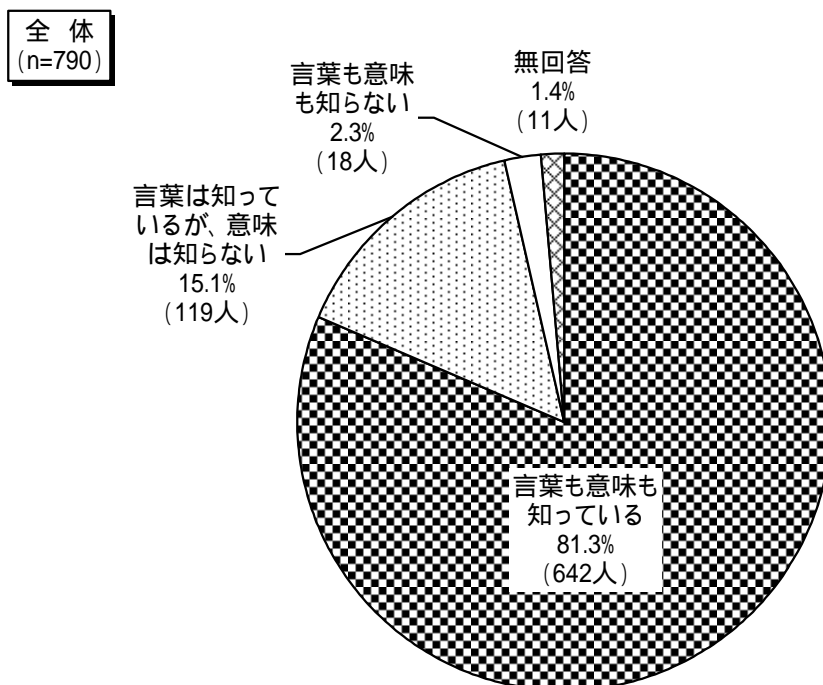


特定健康診査を「1年以内に受診した」人の割合は52.6%で、5割を超えた。「2年以内に受診した」人は8.0%で、両者を合わせた特定健康診査を『受診した人』計の割合は60.6%となっている。また、「2年より前の基本健診は受診した」人は11.8%となっている。

一方、「今まで受けたことがない」人は21.2%、「わからない」が1.4%となっている。

(2) 「メタボリックシンドローム」という言葉の認知状況

問15 あなたは、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）という言葉やその意味を知っていますか。
あてはまるもの1つに をつけてください。



「メタボリックシンドローム」という言葉の「言葉も意味も知っている」と回答した人は81.3%で、これに「言葉は知っているが、意味は知らない」（15.1%）を合わせた『知っている』計は96.3%で、9割を超える人が言葉を知っている。

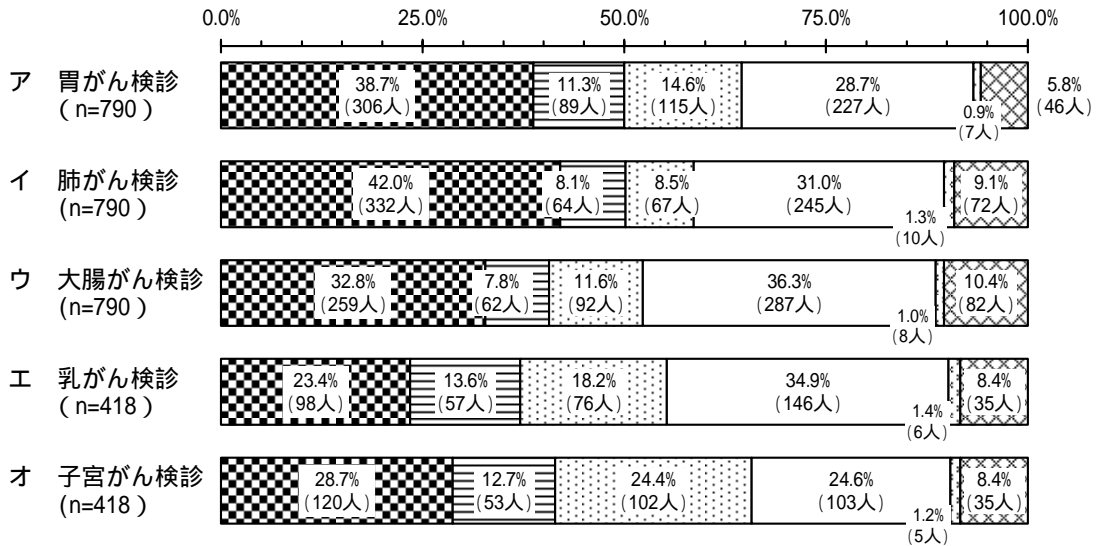
一方、「言葉も意味も知らない」は2.3%とわずかである。

(3) がん検診受診の有無

参考結果：がん検診実施の指針に基づく対象年齢に限定した分析 29～31頁参照

問16 あなたは、次にあげたア～オの項目のがん検診を受けたことがありますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つにをつけてください。

- 1年以内に受診した
- 2年以内に受診した
- 2年より前に受診した
- 今まで受けたことがない
- わからない
- 無回答



「1年以内に受診した」がん検診で最も多いのは、「肺がん検診」(42.0%)で4割を超える人が受けている。次いで「胃がん検診」(38.7%)が4割弱、以下「大腸がん検診」(32.8%)「子宮がん検診」(28.7%)、「乳がん検診」(23.4%)の順になっている。

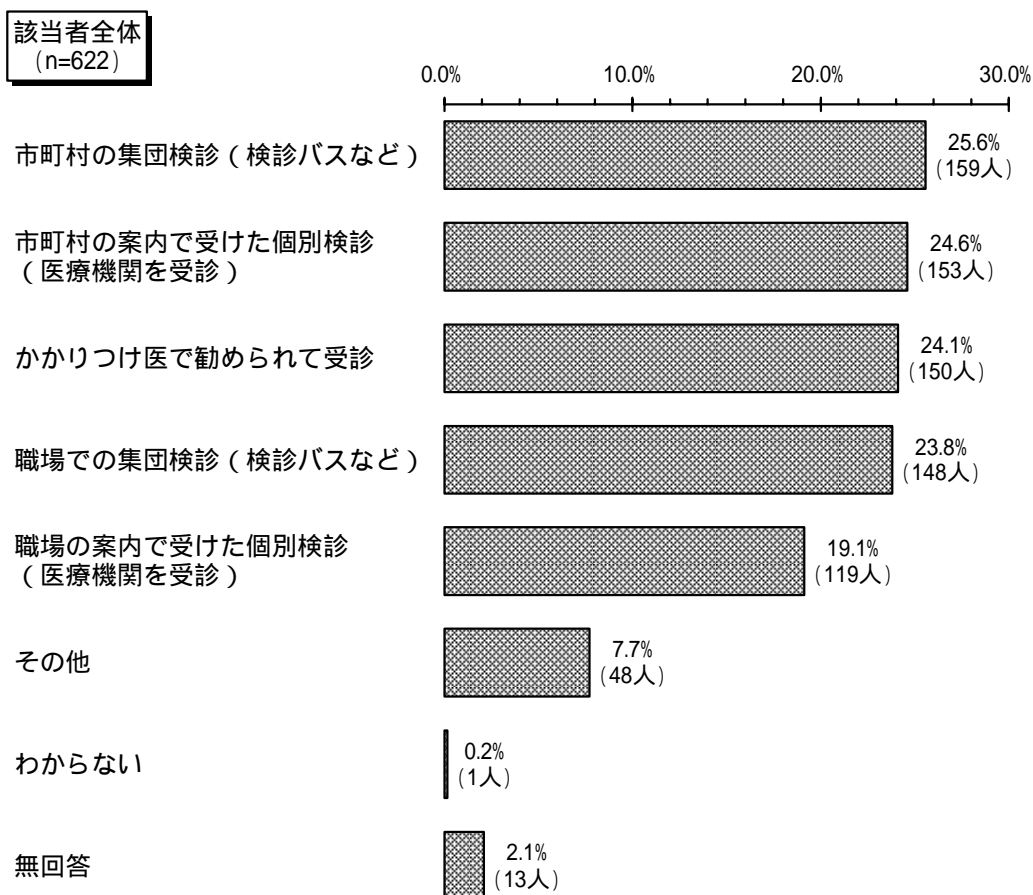
一方、「今まで受けたことがない」の割合は、「大腸がん検診」(36.3%)が最も多く、あまり差がなく「乳がん検診」(34.9%)が続いている。

(4) がん検診を受診した機会

(問16のア～オの項目で1つでも「1 1年以内に受診した」、「2 2年以内に受診した」、「3 2年より前に受診した」に を付けた方にお尋ねします。)

問16-1 それは主にどのような機会に受診しましたか。

あてはまるものいくつかをつけてください。

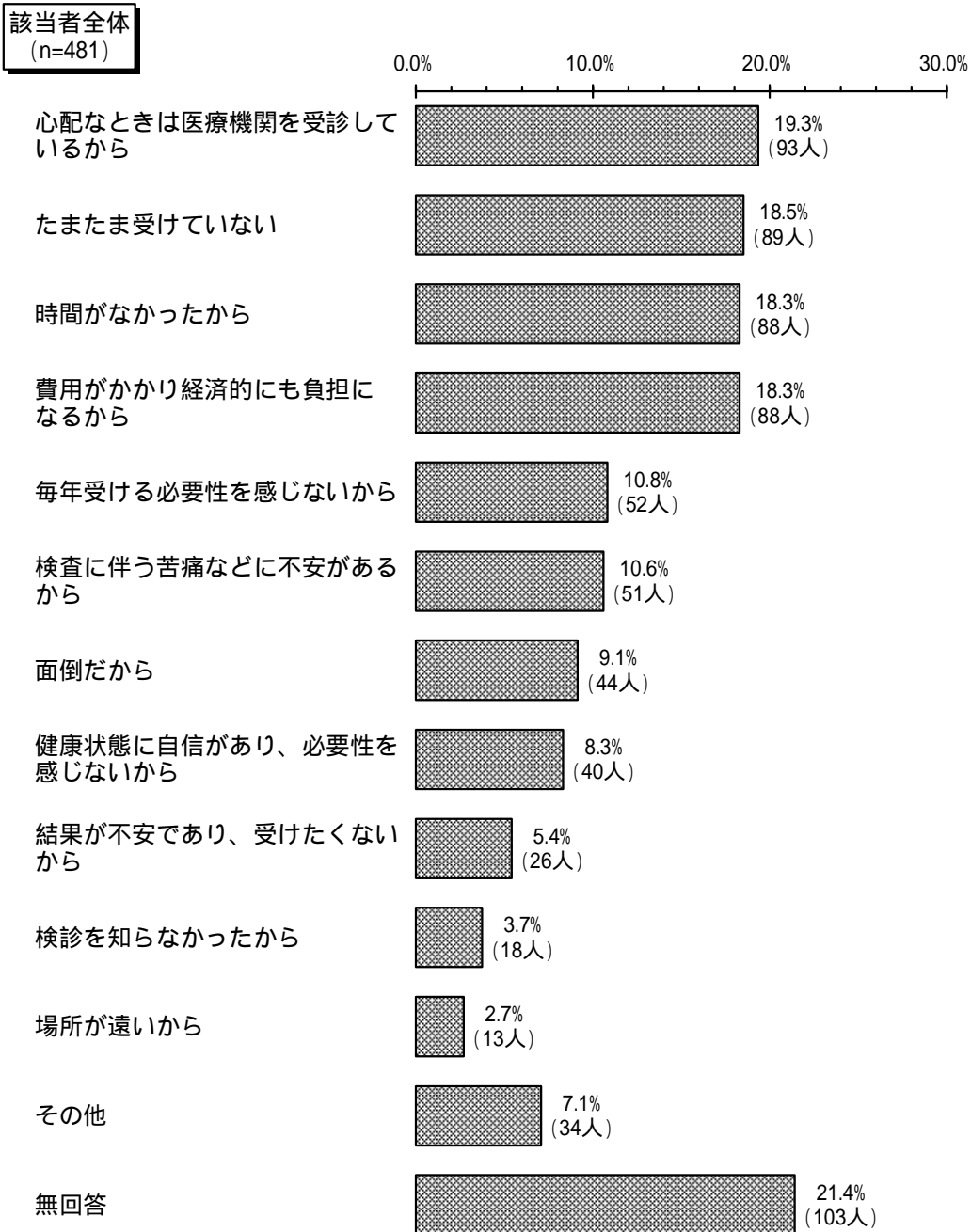


がん検診を受診した機会は、「市町村の集団検診 (検診バスなど)」が25.6%で最も多い。以下、あまり差がなく、「市町村の案内で受けた個別検診 (医療機関を受診)」(24.6%)、「かかりつけ医で勧められて受診」(24.1%)、「職場での集団検診 (検診バスなど)」(23.8%)、「職場の案内で受けた個別検診 (医療機関を受診)」(19.1%)と続いている。

(5) がん検診を受けない理由

(問16のア～オの項目で1つでも「3 2年より前に受診した」、「4 今まで受けたことがない」に を付けた方にお尋ねします。)

問16-2 最近がん検診を受けない主な理由は何ですか。
あてはまるものいくつかを付けてください。



最近がん検診を受けない理由は、「心配なときは医療機関を受診しているから」(19.3%)が最も多く、次いで、あまり差がなく「たまたま受けていない」(18.5%)、「時間がなかったから」「費用がかかり経済的にも負担になるから」(各18.3%)が続いている。以下、「毎年受ける必要性を感じないから」(10.8%)、「検査に伴う苦痛などに不安があるから」(10.6%)、「面倒だから」(9.1%)、「健康状態に自信があり、必要性を感じないから」(8.3%)などとなっている。

参考結果：がん検診実施の指針に基づく対象年齢に限定した分析

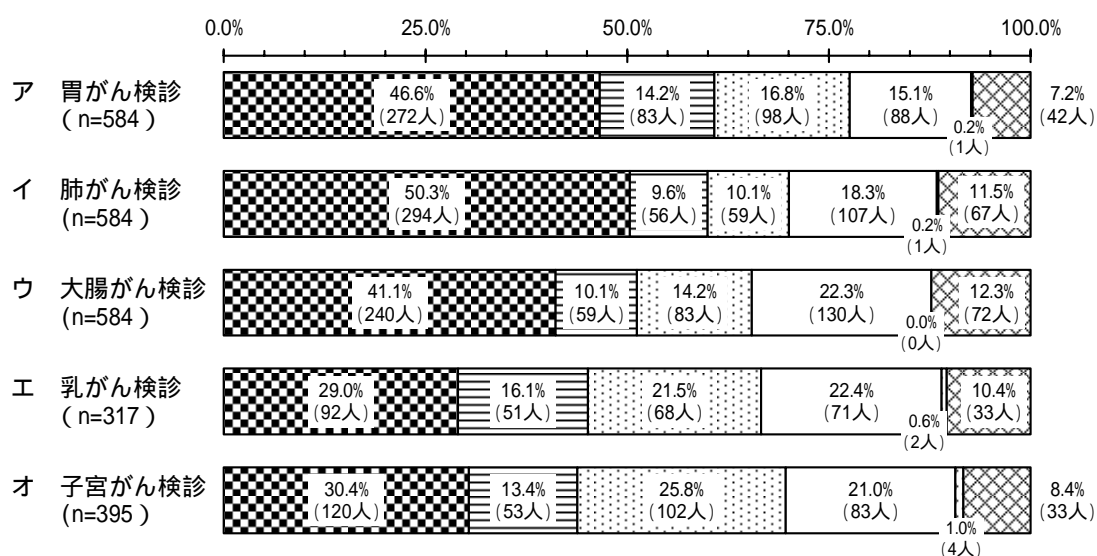
がん検診実施の指針に基づく対象年齢

胃、肺、大腸、乳がん・・・40歳以上

子宮がん ……20歳以上

問16 あなたは、次にあげたア～オの項目のがん検診を受けたことがありますか。
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに をつけてください。

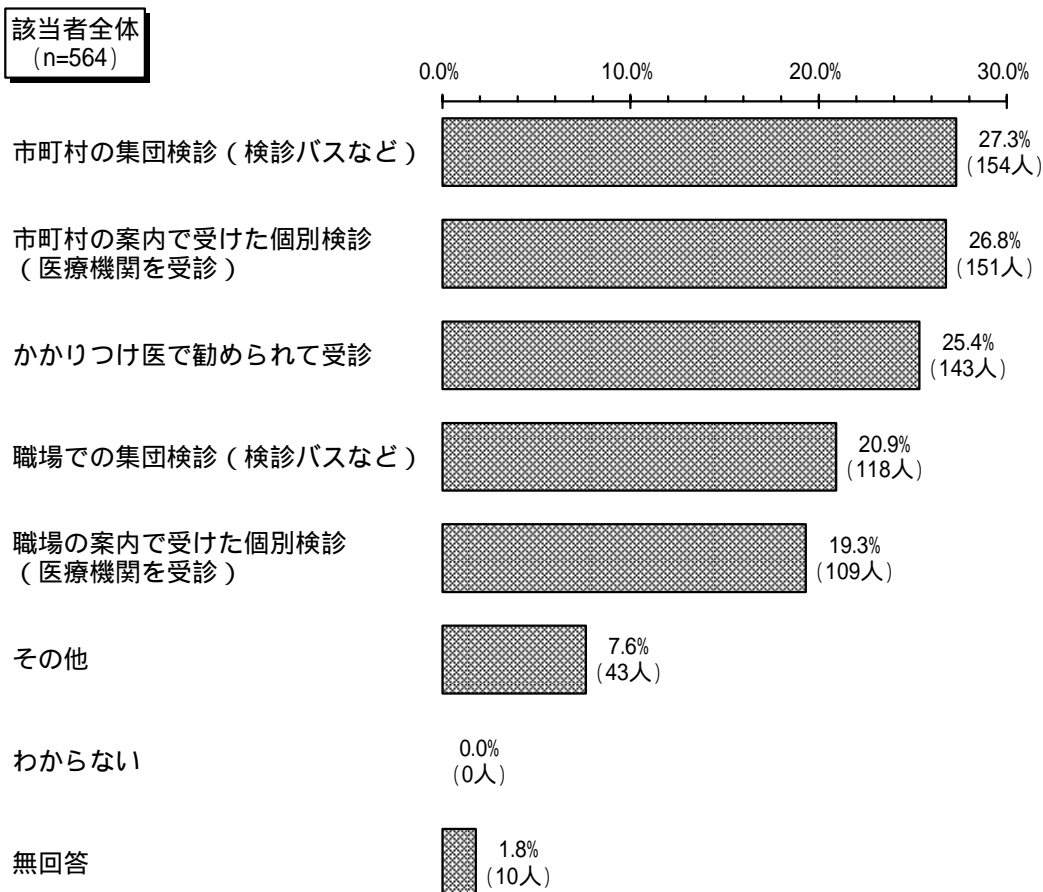
- 1年以内に受診した
- 2年以内に受診した
- 2年より前に受診した
- 今まで受けたことがない
- わからない
- 無回答



「1年以内に受診した」がん検診で最も多いのは、「肺がん検診」(50.3%)で5割の人が受けている。次いで「胃がん検診」(46.6%)が5割弱、以下「大腸がん検診」(41.1%)「子宮がん検診」(30.4%)、「乳がん検診」(29.0%)の順になっている。

一方、「今まで受けたことがない」の割合は、「乳がん検診」(22.4%)が最も多く、ほとんど差がなく「大腸がん検診」(22.3%)、「子宮がん検診」(21.0%)が続いている。

(問16のア～オの項目で1つでも「1 1年以内に受診した」、「2 2年以内に受診した」、「3 2年より前に受診した」に を付けた方にお尋ねします。)
 問16-1 それは主にどのような機会に受診しましたか。
 あてはまるものにいくつでも をつけてください。

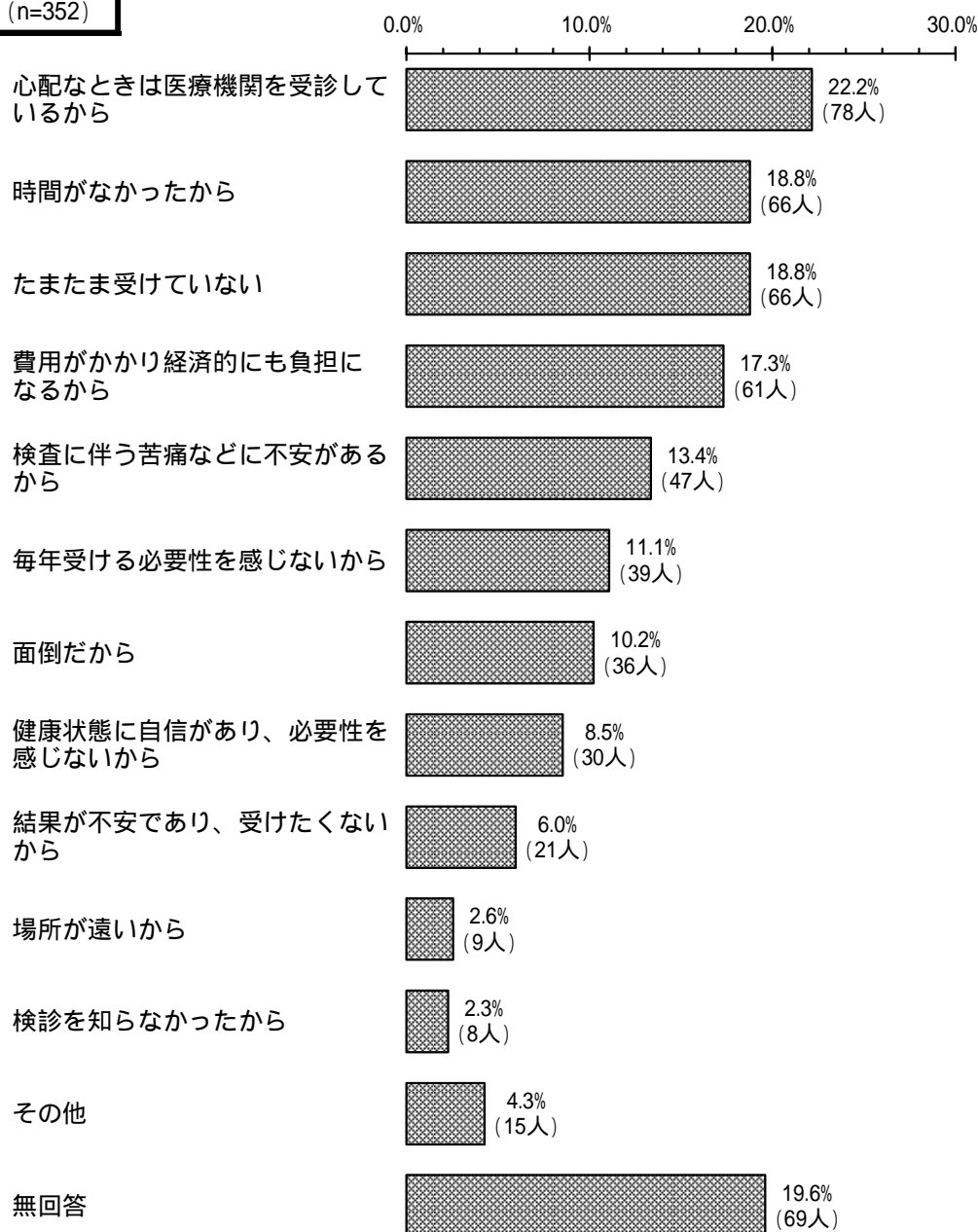


がん検診を受診した機会は、「市町村の集団検診 (検診バスなど)」が27.3%で最も多い。以下、あまり差がなく、「市町村の案内で受けた個別検診 (医療機関を受診)」(26.8%)、「かかりつけ医で勧められて受診」(25.4%)、「職場での集団検診 (検診バスなど)」(20.9%)、「職場の案内で受けた個別検診 (医療機関を受診)」(19.3%)と続いている。

(問16のア～オの項目で1つでも「3 2年より前に受診した」、「4 今まで受けたことがない」に を付けた方にお尋ねします。)

問16-2 最近がん検診を受けない主な理由は何ですか。
あてはまるものいくつかを つけてください。

該当者全体
(n=352)



最近がん検診を受けない理由は、「心配なときは医療機関を受診しているから」(22.2%)が最も多くなっている。以下、「時間がなかったから」(18.8%)、「たまたま受けていない」(18.8%)、「費用がかかり経済的にも負担になるから」(17.3%)、「検査に伴う苦痛などに不安があるから」(13.4%)、「毎年受ける必要性を感じないから」(11.1%)、「面倒だから」(10.2%)、「健康状態に自信があり、必要性を感じないから」(8.5%)などとなっている。